

消防学校だより

令和元年5月号

発行年月日 令和元年5月31日
発行 宮崎県消防学校

★機械器具取扱訓練

三連はしご取扱訓練を実施しました。三連はしごは、高所や低所への進入や脱出、梯上での作業等、消防活動を実施する上で大変便利な資機材である反面、転倒やはしごの中落ちなどの事故を起こす可能性の高いのもです。しっかりと三連はしごの諸元を熟知させ、取扱訓練を実施しております。



★救急法指導講習

救急法指導の授業を行いました。救急法は救命の連鎖を考えた場合、多くの住民方が適切に実施できることで救命率の向上に繋がるため、消防職員として救急法を確実に実施でき、住民にわかりやすく指導できることが必要であるため真剣に授業に取り組んでいました。



★校長点検

初任科生も4月に消防学校へ入校し一月が過ぎ、初めての学校長点検を受けました。

消防は、厳正な規律の保持と迅速的確で秩序ある行動が要求されます。訓練例式をとおり服装、姿勢、行動も徐々に消防人らしくなっています。



★消防ポンプ取扱訓練

消防ポンプ車を使用し放水訓練を行いました。消防車から発水される水の圧力、ホースの重さを体感しました。

消防で使用する各種ポンプの諸元をしっかりと理解し、事故なく機器を安全に使用できる職員育成を行います。



★運動生理学

5月16日(木)、かなや鍼灸院 鍼灸師 金谷 誠一氏に運動生理学の講義を行っていただきました。

運動生理学は、運動に伴う身体の機能・構造の変化を研究する学問で、近年では運動生理学をベースにした健康科学が注目を集めています。

健康の定義、運動の効果、運動器の評価(体験学習)について学びました。



★大規模災害対応訓練

5月16日(木)、17日(金)深夜で、訓練課業終了後の18時00分に、「日向灘沖を震源とする大規模な地震により、宮崎市木花及び赤江地区に甚大な被害が発生」との想定付与により、屋内訓練場(体育館)を緊急消防援助隊のベースキャンプ地と見立て、30分間で個人装備品の準備を指示し、必要資機材等(仮眠場所・発電機・照明等)の設営を行いました。また、18時30分に「木崎浜に多数の傷病者があり、車両等の進入不可」の想定指令で、学校から木崎浜までランニングにて移動、その後、ダミーを担架に収容、学校まで約5キロメートルの搬送訓練を行いました。夜間帯にも学校施設内での要救助者検索及び搬送訓練を行い、訓練は、翌朝5時に無事終了しました。

ひむか寮からの出勤

体育館にキャンプを張り部隊集合



木崎浜へ移動



木崎浜到着 各小隊人員報告

搬送要領説明

各小隊搬送準備



要救助者搬送開始



★団長研修

5月20日（月）消防団長研修を行いました。

消防団長方は、消防学校内にある慰霊碑に献花され、消防殉職者の御霊に対し二度と消防職団員の殉職事故が起こらぬよう決意を込められていました。

研修会では、落語家の三遊亭 多歌介さんを招いて「笑い（笑顔）の効用、年齢、体は気の持ちようです」というお題で話をしていただきました。

慰霊碑に決意を込める県内消防団長



落語家 三遊亭 多歌介さん



★宮崎県消防救助指導会見学 5月30日（木）

宮崎市北消防署東分署で開催された第37回宮崎県消防救助技術指導会を見学しました。

先輩職員の高度な救助技術を目の当たりにしたことで大きな刺激を受けたようです。

九州・全国大会に出場される隊員の皆様のご健闘をお祈りいたします。

開会式、閉会式では、初任科生も標員勤務、選手団等のプラカード要員を立派に勤め上げました。

見学後は、学校までの約10キロをランニングで帰りました。

標員（小森稜平・串間洸介） プラカード員（波種太郎・井上洸亮・小田涼太・夏井隆光・吉田望思・平野大地・渡会晃大・橋口夕輝・新藤龍斗・吉田悠太郎・中神黎）



宮崎市消防局北消防署東分署出発

信号待ちには空気椅子にて待機



赤江大橋下で体力錬成

学校長へ帰校申告



6月の主な行事

6月06日(木)・7日(金) 消防団指揮幹部科(分団指揮課程)

6月27日(木)～7月25日(木) 救助科

64期初任科生、日々精進しております。

次回は、6月・7月合併号です。

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp